

壁

横目で見れば光だけが見え
その光を讀えたときが光の失せる時
御前がすくい取れるのは灰だけだ
それよりも光の中を抜けて奥へ入るがいい

美を求めれば瞬間だけがあり
立ち止まったときに足下の地が大きく口を開く
瞬間と瞬間をつなぐものはない
それよりも時という連続をたどるがいい

(1982.10.31)